

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立朝日中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他(例: 小中高一貫)
所在地 〒509-3304
岐阜県高山市朝日町立岩777
E-mail asahichu@edu.city.takayama.gifu.jp

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

Website

<http://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000020/1000114/1000781/1000791.html>

幼児児童生徒数 男子 20 名 女子 20 名 合計 40 名
幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要(800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校は、「自立・貢献」を学校の教育目標とし、ESDの実践を通して自分で考え、自ら行動し、社会に貢献する力の育成を目標とした。

具体的には、郷土学習、地域貢献、平和学習を柱に、①地域の自然保護に係わる活動、②地域貢献に係わる教育、③平和に係わる学習を行った。

① 地域の自然保護に係わる活動

第1学年では、自然体験とそれを支える人とのふれあいを通して、地域の自然に興味をもち、自然を大事にしていこうとする心情を養っている。

・龍巖山(りゅうがんざん)登山では、山名の由来と共に、岩山を登山する際に留意すること、その方法について、地域のガイドライセンスをもつ方から学習した。

・日の観ヶ岳(ひのみがだけ)登山では、山に自生する山菜を採りながら、飲料水となる清水で喉を潤した。山菜の採取にあたっては、地域の山主の善意である。この地域では、各寺に、山号がついている。ふもとの寺は日観ヶ岳を寺の山号とし、正式名称を「日の観ヶ岳長円寺」という。そのため、日の観ヶ岳頂上には、

仏像が安置されている祠があり，そこで一同，経をあげ，下山した。ふもとの長円寺では，生徒が採取した山菜をてんぷらにして食べることができるよう地域の方の支援で仕度が整っており，山の幸を満喫した。

・ツリークライミングは，秋神地区の森林で行う。ライセンスをもつ地域住民によって，地域の森林の特徴やその保護の方法を学ぶと共に，ツリークライミングを楽しむ。

② 地域貢献に係わる学習

第2学年では，地域貢献を通して，地域の実態と知ると共に，自分達にできることを考え，行動する学習を行っている。

・ハロウィン祭にむけて，過疎地域における現状，活性化，貢献について地域住民を講師に座学で学ぶ。中学生である自分達にできることを考え，楽しみながらできる地域貢献を考える。次に，お化けカボチャの苗を学校畑で育てる。育てたカボチャを地域住民と共に「道の駅」で彫り，道路脇に並べる。ハロウィン祭当日には，地域の「まちづくり協議会」等，いくつかの団体により催し物があるため，その手伝いをする。休日のため，生徒は自主的な参加となるが，全員，保護者や友人同士で参加し，祭りを盛り上げている。また，地域の人と一緒に活動することで，地域の方の願いを感じ取ることができている。

③ 平和に係わる学習

第3学年では，広島への修学旅行を中核にすえ，社会科の歴史的分野との連携を図りながら平和学習を進めている。また，平和学習と他の学習を関連付けながら，全校体制で学習を行っている。

・戦争体験を聞く学習として，特攻隊として訓練を受けながら，出撃前に終戦を迎えた方の話，満州の開拓団として帰国した方の話などを通して，戦中・戦後の日本の様子を学ぶ。

・広島では，被爆二世の方の講演を聴く。

・佐々木禎子さんについて学ぶと共に，折鶴を禎子像の前に捧げる。

・ユネスコスクールの掲示板より，「折り鶴プロジェクト」を知り，生徒会を中心に取り組む。本校生徒会から，市内他校の小学校児童会，中学校生徒会に声をかけ折鶴を集め，広島に送付した。その後，「折り鶴」が，佐々木祐滋氏の手によってユタ州に運ばれたことを新聞で知り，佐々木祐滋氏を本校に招き講演を聴くこととなった。

・高山市教育総合会議において，本校の平和学習について生徒会執行部生徒が発表した。



1年 日の観ヶ岳登山



2年 ハロウィン祭り



3年修学旅行（禊子像の前で）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 休日の自由参加)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・ユネスコスクールホームページ
- ・「太平洋戦争のビデオ」
- ・「広島と長崎」
- ・「南京大虐殺」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・教科の学習（主に社会）、特別活動の時間、総合的な学習の時間において、年間計画に位置付け、継続的に指導している。活動内容3で述べたように各学年中心に学ぶことを決め、前年度学んだ事項、学習方法を踏まえ、生徒の実態に応じて進めるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

・各学年中心に進める内容を定めているため見通しをもちやすく、生徒にも定着しつつある。行事をこなすのではなく、その都度見直しをし、講師の選定や学習計画の再構築を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

・学校関係者評価においても、年度当初示す全体計画をもとに評価できるようにいくつかの項目を挙げて実施している。（年2回）また、計画した行事等には地域の方々にも参加していただけるよう呼び掛けている。今後一層、地域との連携を密にし、成果をあげていくことが課題である。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

・学校だよりを地域全戸に配布。生徒の声を届けている。また、学校開放の日、地域参観日などを設け、直接触れ合う機会も設けている。少しずつではあるが、回を重ねるごとに参加者も増え、地域の声も学校に届きやすくなっていると感じる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

・学校関係者評価委員会を兼ねた「朝高子どもしとねる会」を年に4回開き、そこで地域の各種団体との意見交流、情報交換を行っている。また、今年度行った「佐々木祐滋氏の平和講演のように、幅広く講師を求め、学習計画に盛り込んでいる。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項 2-4 に対応

・本年度参加した「祈り鶴プロジェクト」では、高山市内のユネスコスクールのみならず同市内のすべての小中学校に参加の呼びかけを行った。今後は他校の取り組みを探りながら、徐々に交流を深めていきたいと考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

・生徒が様々な活動を取り組んでいく中で、視野を広げて活動していける素地ができたのではないかと感じている。教師も指導を行うにあたって、コミュニティスクールとして、いかに地域の中の学校として存在感を示していけるかを常に意識しながら活動できているのではないかと。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

○地域の自然保護、自然理解に係わる活動

- ・飛騨牛講話
- ・千町牧場肥料まき
- ・龍巖山登山
- ・日の観ヶ岳登山
- ・外来性植物の駆除
- ・自然体験学習、自然講話
- ・ツリークライミング体験

○地域貢献に係わる学習

- ・ハロウィン祭り協力
- ・地域文化祭共同開催
- ・カブトロー祭り（地域の祭り）
- ・子ども会主催行事

○平和に係わる学習

- ・平和講話
- ・修学旅行事前学習
- ・平和記念事業、講演
- ・教育総合会議にて学習成果発表

* その他ユネスコスクールとしての活動協力